

代々木図書館新聞

よよぎとしょかんしんぶん

渋谷区立代々木図書館 03-3370-7566

〒151-0053 渋谷区代々木 3-51-8 代々木区民施設 4F

Vol. **23**
2013年7月15日

代々木図書館 2013年7・8・9月の予定

7月

- 7月18日(木) 15時～15時30分
おはなし会
- 7月20日(土)
体験! 1日図書館員
- 7月25日(木) 15時～15時30分
おはなし会
- 7月27日(土) 9時～
雑誌リサイクル

8月

- 8月1日(木) 15時～15時30分
おはなし会
- 8月15日(木) 15時～15時30分
おはなし会
- 8月17日(土) 15時～15時30分
なつやすみこうさく会
- 8月22日(木) 15時～15時30分
おはなし会
- 8月24日(土) 9時～
雑誌リサイクル
- 8月29日(木) 15時～15時30分
おはなし会

9月

- 9月5日(木) 15時～15時30分
おはなし会

富士へ行こう

— ところで、富士講って何? —



左から:『富士講の歴史』岩科小一郎著、名著出版 / 『ご近所富士山の「謎」』有坂蓉子著、講談社 / 『渋谷の富士講』白根記念 渋谷区郷土博物館・文学館



鳩森八幡神社にあるものが、23区内に現存する最古の富士塚である

念願の世界文化遺産となった富士山。認定に当たり、富士信仰も重視されたとか。その一つ「富士講」とは、どんなものだったのでしょうか。

●庶民の味方、身祿の魅力

富士講は、江戸時代中期から庶民に広がりました。幕府から度々禁令が出たことから、人気ぶりがうかがえます。その魅力は、富士山だけでなく、中興の祖、食行身祿(じきぎょうみろく)の教えにもありました。身祿は封建社会において身分制を否定。富士山の女人禁制に対しても「同じ人間なり」と登拝をすすめます。勤勉を重視し、先進的・道徳的な人でした。

折しも享保の大飢饉が起こり、民は苦しみます。すると、身祿は富士山の烏帽子岩で31日間の断食を行い、入定を果たします。庶民中心の世に変わることを祈願してのことでした。こうして、身祿は庶民の代弁者と

評判が高まり、「八百八講」と言われるほどにその教えが広まったのです。

●代々木周辺の富士講

代々木の周辺には丸谷代々木講・代々木新町講と千駄ヶ谷の烏帽子岩講がありました。その丸谷講の石碑が、代々木八幡神社に残っています。明治39年建立。「登山四拾七度」とあり、112名の講員名が刻まれています。

●体力がなくても大丈夫

また、遠方まで行かれない人のために、ミニ富士山が造られました。富士塚です。

23区内に現存する最古のものが、鳩森八幡神社内にあります。寛政元年に烏帽子岩講が築造。都の有形民俗文化財に指定されています。

身祿像もあり、小さいながら登拝を一通り体験できる仕組み。都内には他にも個性豊かな富士塚が多く残されています。

これを機に、初登山を体験するもよし、富士塚めぐりをするもよし。世界遺産を味わってみませんか？

講紋が目印!
探してみよう



上:丸谷講
下:烏帽子岩講

2013年7月・8月・9月の休館日

7月 16(火)・21(日)・23(火)・30(火)

8月 6(火)・8(木)・13(火)・18(日)・20(火)・27(火) 9月 3(火)・10(火)・12(木)

この夏も節電・節約!
今年もまた冷房使用の季節がやってまいりました。今年には特に電気料金の値上がり、さらに穀物・油などの原材料費高騰を受け、パンや食用油の値上がりなど、家計にも少なからず影響を及ぼすことが予想されます。そのため、節電・節約生活で家計への負担を少しでも減らしたいもの

です。その助けとなる本が、代々木図書館には沢山あります。節電・節約の本はもちろんのこと、お金をかけずに東京を満喫する本など読むだけでも楽しい本を数多く所蔵しています。肩に力を入れず、どうぞお気軽にご利用下さい。また、代々木図書館も節電・節約に努めてまいります。皆様にはご不便・ご迷惑をおかけ致しますが、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

この夏も節電・節約!

左:『主婦のお仕事 [基本・お気楽・節約] マニュアル』阿部絢子著、講談社
右:『夏を涼しく! おばあちゃんの知恵袋』おばあちゃんの知恵袋の会著、大和出版



左:『もったいない事典』赤星たみこ著、小学館
右:『FREE TOKYO フリー(無料)で楽しむ東京ガイド100』ジョー横溝著、ブルース・インターアクションズ



『北原白秋詩集』神西清編、新潮社 / 『名作童謡北原白秋…100選』上田信道編、春陽堂書店 / 『白秋全集』(全40巻) 北原隆太郎ほか編、岩波書店

他に転居した後にも白秋は代々木を訪れており、明治神宮や練兵場の歌を残しています。

若葉榎しきりがよひ午ちかし明
治神宮の春蟬のこゑ
『白南風』

「ふさぎの虫」(『桐の花』所収)でも、俊子は「代々木の草原を飛びあるく白栗鼠の児のやう」と書かれていて、当時の代々木の様子を窺うことができます。

北原白秋は明治40年5月から12月まで千駄ヶ谷村(現千駄ヶ谷)に、明治43年9月から44年2月まで千駄ヶ谷字原宿(現神宮前)に住んでいました。白秋は千駄ヶ谷字原宿にいた折隣家の松下氏の妻俊子と親しくなります。この歌はその頃のものです。二人は松下氏に姦通罪で告訴されて未決監に拘留されてしまいました。

無罪免訴になった後に書いた小品「ふさぎの虫」(『桐の花』所収)でも、俊子は「代々木の草原を飛びあるく白栗鼠の児のやう」と書かれていて、当時の代々木の様子を窺うことができます。

北原白秋は明治40年5月から12月まで千駄ヶ谷村(現千駄ヶ谷)に、明治43年9月から44年2月まで千駄ヶ谷字原宿(現神宮前)に住んでいました。白秋は千駄ヶ谷字原宿にいた折隣家の松下氏の妻俊子と親しくなります。この歌はその頃のものです。二人は松下氏に姦通罪で告訴されて未決監に拘留されてしまいました。

渋谷の文学① 北原白秋 — 代々木の歌 —

最近これ読みました③

『センス・オブ・ワンダー』
レイチェル・カーソン / 著
上遠恵子 / 訳 新潮社

「センス・オブ・ワンダー=神秘さや不思議さに目を見はる感性」があれば。たとえ都会の中にも、空や木々の色彩に、雨や虫や風の音に、四季の営みに、小さな植木鉢の中に、自然の営みを感じることができる——そのアンテナを持ち続けることの大切さと、自然にふれる喜びを、美しい文章と写真が語りかけるように教えてくれます。本を閉じたら窓を開けて、五感すべてで自然を感じたくなるような一冊です。



なつやすみこうさく会

代々木図書館では、8月17日(土)15時からなつやすみこうさく会を開催します。夏休みの日、図書館でおはなしとこうさくを楽しみませんか。小さなお子さんでも大丈夫。たくさんのお子さんの参加をお待ちしています。



昨年のこうさく会では、「ドライバープー」を作りました!

編集後記 280年前に女人禁制解除を唱えるのは、容易ではなかったはず。おしゃれな山ガールが富士山を闊歩する今の世を、身禄さまはどこからかここにきておいででしょうか。

ご紹介した本は、すべて渋谷区立図書館で借りられます。